

国土交通省技監 谷口 博昭

ません。

行政の大きなうねりとながる、と考えます。国
このため、7月4日にしては「国から地方へ、
閣議決定された国土形成 官から民へ」があります
計画を受け、地域の実情 が、それぞれがパートナー
にあった特色ある広域地 ーとして連携を強めるこ
方計画を策定することと が求められます。

してきます。道路はもち その中で、私が期待し
ろん、急傾斜地、治水、 たいのは、地域の社会資
港湾、空港など、安心・ 本整備には何が必要で、
安全な国土づくりは、ま 重点をどこに置くか、と
はまるのです。

国土づくりの輪を

国土交通省も大臣が谷
垣禎一・前自民党政調会
長に代わられ、新しい体
制となりました。財政政
策のプロの方なので、こ
れからの国土づくりは大
いに指導力を発揮してく
ださる、と思います。

だまだなすべきことが山 積みしています。
地域格差が問題になっ いて、地域に頑張ってもら
から知恵を出してもら っていく、これからの国
土づくりをどう進めるか について議論を深めてい
ただきたいと思えます。

私たちは、今後の日本
の国土づくりがどうある
べきかを、しっかり考え
て実践していかねばなり
ません。

「民間都市開発 ことです。
新たな制度を有効に活 用していただければ、地
域間の切磋琢磨が国全体 を良くしていくことにつ
も言えましよう。

「地域公共交通
の活性化と再生支援」の
3つの制度が、新たにス
タートします。

「民間都市開発 ことです。
新たな制度を有効に活 用していただければ、地
域間の切磋琢磨が国全体 を良くしていくことにつ
も言えましよう。